

農業試験場水稻試験圃の生育状況(平成30年)

農業試験場八重森圃場(標高348m)

調査時期	調査項目	あきたこまち				コシヒカリ				風さやか(参考)			
		前年(H29)	平年	本年(H30)	平年差	前年(H29)	平年	本年(H30)	平年差	前年(H29)	平年	本年(H30)	平年差
移植後 20日	主稈葉数(枚)	6.8	6.7	6.3	-0.4	6.9	6.8	6.7	-0.1	6.8	6.8	6.6	-0.2
	草丈(cm)	28	28	24	85.1	30	30	31	101.1	30	31	30	95.2
	茎数(本/m ²)	199	194	178	91.4	241	229	228	99.3	254	243.6	221	90.7
移植後 30日	主稈葉数(枚)	8.2	8.5	7.5	-1.0	8.2	8.5	7.9	-0.6	8.1	8.6	7.8	-0.8
	草丈(cm)	31	35	29	82	32	37	35	94	31	36	33	90
	茎数(本/m ²)	325	427	288	67	400	488	372	76	498	561.0	379	68
移植後 40日	主稈葉数(枚)	9.6	9.9	9.1	-0.8	9.6	10.0	9.4	-0.6	9.6	10.0	9.4	-0.6
	草丈(cm)	44	52	39	75	47	53	46	87	38	44	40	89
	茎数(本/m ²)	532	612	591	96	621	676	622	92	710	744.9	649	87
幼穂形成期	期日(月日)	7/9	7/7	7/6	-1	7/11	7/12	7/13	+1	7/17	-	7/17	-
出穂期	期日(月日)	7/30	7/27	7/26	-1	8/6	8/5	8/3	-2	8/9	8/9	8/7	-2
成熟期	期日(月日)	9/12	9/7	9/5	-2	9/17	9/15	9/13	-2	9/25	9/24	9/19	-5
	稈長(cm)	86	88	88	99	97	95	95	100	81	81	85	105
	穂長(cm)	18.0	18.6	18.7	101	18.1	18.7	18.1	97	17.1	16.9	17.2	102
	穂数(本/m ²)	493	482	463	96	531	496	480	97	508	473	476	101
	玄米重(kg/a)	66.1	65.8	70.2	107	65.5	63.7	60.9	96	72.1	71.7	74.2	103
	千粒重(g)	21.3	21.6	21.9	101	21.3	21.8	21.4	98	22.8	22.8	21.9	96

平年値：平成23年～29年のうち収量最高、最低年を除く7中5年の平均(風さやかは平成26年～29年の平均)

移植期：5月21日、苗質：中苗、移植法：1株3本手植え、栽植密度：22.2株/m²(30cm×15cm)

平年対比は収量の最多、最小を除く7中5年の値、玄米重は1.85mm篩データ

<概要>

移植後20日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」とも葉数、草丈、茎数は平年並みである。

移植後30日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」ともに葉数は少なく、草丈は短い。また、茎数が平年よりかなり少ない。茎数の増加が緩慢なのは6月中旬の低温傾向によると推定される。

移植後40日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」ともに草丈がやや短い、茎数は平年並に近づき、生育は回復傾向にある。

出穂期は「あきたこまち」で1日、「コシヒカリ」で2日早い。

成熟期は「あきたこまち」「コシヒカリ」ともに平年より2日早い。

玄米重量は「あきたこまち」は平年よりやや多く、「コシヒカリ」は平年よりやや少ない。

「コシヒカリ」減収の要因は台風21号による早期の倒伏の影響により、登熟歩合、千粒重が低かったことが影響したと推察される。